



中期基本計画策定プロジェクト報告

8月3日に発足したNPOサポート・しみずの今後5カ年の事業計画策定のためのプロジェクト会議は、会員と清水市民活動センタースタッフが意見を出し合い、10月27日、第5回会議において以下の基本方針を確認しました。

ミッション



社会的課題を解決するために活動する市民活動団体に対する支援事業を行うことを中心に、誰もが生き生きと暮らせる社会の実現に寄与することを目指します。

目標



誰もが生き生きと暮らせる社会の実現するために

『存在感のあるNサポに進化（10年後、Nサポブランドの確立）』

- 組織の土台を固め、強みを活かし攻めの取組の展開
- 組織体制を再構築し、経験と専門性を活かし、意欲的な取組みで、独自化形成を図り、地域活性化に貢献します

進め方

社会経済の潮流の変化を踏まえ、Nサポの内部環境を見直し、経験と実績などの強みをベースに、体制強化を図り、市民活動団体に対する伴走や活動団体間のつながりをさらに強化するとともに、多様な地域・社会課題の解決に向けた取組を多様な主体による活動団体との協働・連携による事業展開も進めます。

<進化内容>

1 to 1 の関係→多様な主体との連携関係、活動支援→事業支援、NPO→認定NPO

市民活動団体への支援→主体となる市民活動団体への伴走、活動団体の活性化→連携による地域活性化

目指す取組の方向性（像）

1. あったかみのある心で取組みます

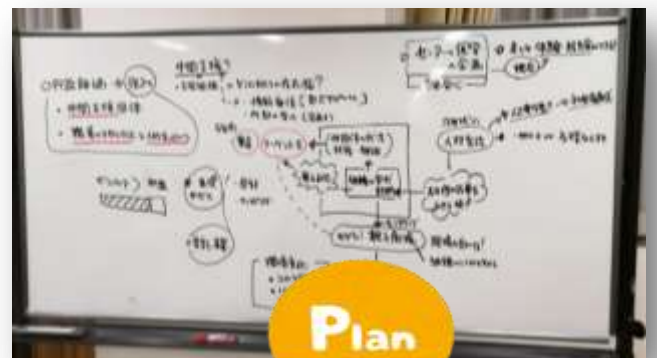
- ① アドボカシー、SDGs への積極的な取組
- ② 現場にでかけ、課題認識や再発見も
- ③ 経験と実績による相手の気持ちによりそう取組

2. 時代や環境の変化に、柔軟な取組みをします

- ① 新たな社会潮流（コロナも含む）への対応
- ② ICT等を活用した多様な事業展開
- ③ 多様な市民活動との連携活動の事業化

3. 多様な事業展開や経営感覚のある取組みをします

- ① 多様な事業展開に必要なパートナーづくり
- ② 多様な事業展開や支援メニューの提供
- ③ 活動し続けるためのマネジメント
- ④ PDCAの循環と評価



世界規模で感染症の脅威が続く中、社会の課題解決に取り組んできた多くのNPOも活動自粛により仲間づくりの停滞、活動資金不足など厳しい状況におかれています。

私たちが新たな視点で中間支援のあり方を考え、団体に寄り添った積極的な事業展開をしていく必要があります。

市民活動センター指定管理について

現在、静岡市は、清水市民活動センター及び番町市民活動センターの第5期指定管理者を公募中です。

市内2か所にある市民活動センターの存続については、1か所に統一、または2施設の一元管理などの話もありましたが、第5期については現状のままの募集となりました。

指定管理期間は、令和3年4月1日～令和8年3月31日 です。

NPO サポート・しみずは、任意団体としてのスタートからすでに10年が経過しており、会員も役員もそれだけ年齢が上がっています。

今後5年間の責任を果たすには、団体構成メンバーの若返りや、ICTの推進に取り組めるようスキルの向上や専門性を持った団体との連携などが求められています。

定期総会で議決した通り、次期指定管理者に応募するべく準備を進めていますが、多くの宿題を抱えながらの応募となります。

会員のみなさまの一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

清水市民活動センター14周年記念事業にご参加ください！

期間 10月15日(木)～11月30日(月)



来てね
恒例、パネル展示
階段展示は、
スタッフの
団体活動体験レポート



観てね！

YouTube、Facebookでの
投票による団体CMコンテスト
<http://shimizu-s-center.org/?eid=1143>



投票してね！



聴きにきてね



元気に活動する
NPO 代表によるトークセッション
<http://shimizucenter.org/?eid=1123>